

第 8 回理科サークル「クォーク」例会 - 上木朋子 (2009 年 05 月 09 日)

本日、福井市社北公民館にて午後 1 時から 4 時まで、
第 8 回理科サークル「クォーク」例会を行いました。

参加者：7 人（+ 子ども 1 人）

内容：

2 年生活科「チューリップの観察」(上木)

チューリップの絵を描かせる方法

酒井式の隣へ隣へ描いていく方法で子どもの絵が変わる実践。

2 年生活科「わくわく図鑑を使った野外観察」(上木)

わくわく図鑑のよさをサークル員と話し合った。

中学 1 年「気孔と蒸散」(尾川)

気孔は葉の表と裏のどちらに多いかを確かめる実験の授業

尾川氏は、小学校から中学校に異動したばかりで、

中学校のやり方にとまどっている様子。

とくに、実験と知識を覚えさせる授業のバランスや

進み方の速さをどうすればよいか悩んでいた。

英会話 (石田)

指導主事訪問で行う授業

英会話の授業経験がほとんどないので、フラッシュカードの

練習から始めるとよいようだ。

やったことがないことに挑戦する意欲がすばらしい。

備品の相談 (吉田晴美)

6 年生で買ってもらおうとよい備品について。

ヘッドアースモデルは消耗品で授業ができるという話になった。

盲点の授業 (中川)

いつもたくさんの物を持ってきて楽しい授業をして下さる。

娘が一番楽しかったと言っていた。

目の模型を使った説明ややカメラのスクリーンの説明が

分かりやすくておもしろかった。

五色名句カルタ (山本)

初めてクラスで行う設定で模擬授業。

五色百人一首のやり方で、1 枚札を読むごとに 1 つルールを

説明する方法。

やはり向山先生のやり方は分かりやすい。

あとは、練習するのみ。

例会が終わった後も、いろいろな話で盛り上がりました。
やはり、直接顔を合わせて話をする機会があるのはいいことです。

次回は、6月13日(土)午後1時～4時
福井市社北公民館にて行います。